

東日本大震災の被災地の皆様へ
大震災で被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

このたびの東日本大震災による被災地・被災者の皆様に、謹んでお見舞い申し上げます。一日も早い復旧と皆様の御健康を心からお祈り申し上げます。

当協会におきましても、東北支部事務所が甚大な被害を受け、被害地居住の 153 名（宮城 98 人、岩手 28 人、福島 26 人）の安否が気遣われております。

御存知のように、津波による空前絶後の被害規模と原子力発電所の緊急事態による影響で情報の混乱が生じ、支部会員の消息の正確な把握と麻痺している支部機能の早期回復が、喫緊の課題として迫ってきています。これらに対し協会本部を中心に、全国展開している仲間の他 6 支部が協力して、鋭意、取り組みを強化して参る所存です。

東北支部会員の仲間を含む被災された皆様の御健康と安全確保が、当面の急を要する対応策として不可欠です。と同時に、被災地域の復興を一日も早く実現して行かねばなりません。今後公共と民間が力を一つにして、復興策を早急かつ効率よく実施に移していくのに際し、各種復興プロジェクトのコスト管理を専門とする我々建築積算協会会員の果たすべき役割は、きわめて大きいものがあるように思われます。

被災され苦闘を余儀なくされておられる皆様方にとって、安寧な生活が保障されるような環境創出の実現に、建築積算・コストに関する専門技術者として是非ともお役に立ちたいと念願しております。

平成 23 年 3 月 22 日

社団法人日本建築積算協会
会長 藤上 輝之